

令和5年度文化芸術関係事業について (R5. 7. 20 配布)

京丹後市文化芸術振興計画

基本方針1 活動機会を充実させます

<p>基本施策1 質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を創出します</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○国や府、文化活動団体と連携し、市民が身近に質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を充実 ○学校などと連携し、子どもたちへ質の高い文化芸術鑑賞・体験する機会を提供
<p>令和5年度の取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 京丹後アートフェスティバルの開催 市民が多様な文化芸術に触れ、そこでの学びや体験を通して、創作や表現することの楽しみを体得できる機会を提供する。(主催：京丹後市教育委員会) 9月23日(土・祝)～令和6年2月25日(日) ② 小牧源太郎作品展示(主催：京丹後市教育委員会 文化財保存活用課) 11月(予定) ③ 落語ワークショップ(9日網野中学校、10日大宮中学校)、落語会(共催：京丹後市・京丹後文化のまちづくり実行委員会) 11月9日、10日 ④ 本物の舞台芸術体験事業(市内・小中学校) ⑤ 京丹後市文化協会 支部文化祭(主催：京丹後市文化協会 各支部) 10～11月 ⑥ 「ECHO あしたの畑-丹後・城崎」(主催：NPO 法人 TOMORROW) 10月7日～11月26日 ⑦ 「三津のちいさな芸術祭」(主催：三津の灯台アートプロジェクト実行委員会) 9月23日 ⑧ 丹後文化事業団運営補助金 ⑨ 京丹後市文化協会補助金 ⑩ 京丹後文化のまちづくり推進事業補助金

<p>基本施策2 だれもが気軽に演奏や発表ができる場を創出します</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○公共施設や地域の集会施設などでだれもが気軽に演奏や発表できる場を提供 ○商業施設、民間施設などの活用による発表の場の提供 ○障害のある人や外国にルーツを持つ人など、だれもが文化芸術活動を行うことのできる場の提供
<p>令和5年度の取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 京丹後アートフェスティバルイベントとして 京丹後市総合文化祭「舞台芸能祭」を実施(主催：京丹後市文化協会) 5月21日(日) ② 京丹後アートフェスティバルイベントとして

	<p>京丹後市総合文化祭「総合作品展」（主催：京丹後市文化協会） 障害者及び高校生の作品展示 6月10日（土）、11日（日）</p> <p>③ おとまち響プロジェクト【まちかどピアノ事業（丹後王国「食のみやこ」、京都府丹後文化会館）、まちかどピアノ貸出事業、音楽活動ができる環境整備事業（丹後王国「食のみやこ」、京都府丹後文化会館、峰山総合公園）】</p> <p>④ 「TANGO まるっぼ美術館」（主催：丹後で福祉とアートをつなぐ実行委員会）10～11月（予定） 丹後で福祉とアートをつなぐ実行委員会補助金</p>
--	--

基本方針2 人材をはぐくみます

<p>基本施策1 文化芸術に関する専門人材を配置します</p>	<p>○人と人、人と施設をつなぐ施策のマネジメントやイベント運営、情報発信などを行う専門人材を配置</p> <p>○公共施設の設備管理、運営スタッフの育成</p>
<p>令和5年度の取組</p>	<p>① 令和5年3月から、市の文化芸術全般をマネジメントする、ふるさと創生職員を生涯学習課に1名配置</p>

<p>基本施策2 専門的な指導者を活用します</p>	<p>○専門機関やプロの指導者、地域人材などを活用した学校の授業支援、部活動の指導</p> <p>○プロの指導者による地域の指導者やサークルの育成・スキルアップ</p>
<p>令和5年度の取組</p>	<p>① 京丹後アートフェスティバル 知るプログラム 令和5年9月～令和6年2月の間、京丹後市内に在住するアーティストによるワークショップを5回程度実施。多様な表現、創作方法を知り、そのプロセスや参加者同士の交流の中で、歴史や郷土、地域課題等への気づきを促す。</p>

<p>基本施策3 次世代を担う子どもたちをはぐくみます</p>	<p>○地域探究学習「丹後学」などによる地域の文化、歴史、伝統芸能などの学習</p> <p>○学校などと連携し、子どもたちへ質の高い文化芸術鑑賞・体験する機会を提供（再掲）</p>
<p>令和5年度の取組</p>	<p>① 本物の舞台芸術体験事業（市内・小中学校）</p> <p>② 小学校・中学校での「丹後学」の見直し検討</p> <p>③ （仮称）地域学習副読本の作成（文化財保存活用課）</p>

基本方針3 公共施設などを使いやすく整備します

<p>基本施策1 公共施設などを 使いやすくしま す</p>	<p>○公共施設などのバリアフリー化及びユニバーサルデザインに基づいた施設整備の推進 ○公共施設の設備管理、運営スタッフの育成（再掲）</p>
<p>令和5年度 の取組</p>	<p>① 峰山いさなご施設・マスターズビレッジ施設の維持管理 ② 郷土資料館・古代の里資料館・琴引浜鳴き砂文化館の維持管理</p>

<p>基本施策2 創作などができ る場を増やしま す</p>	<p>○公園などの公共的な空間や学校跡施設などを活用した創作活動・発表・練習の場の提供</p>
<p>令和5年度 の取組</p>	<p>① おとまち響プロジェクト【まちかどピアノ事業（丹後王国「食のみやこ」、京都府丹後文化会館）、まちかどピアノ貸出事業、音楽活動ができる環境整備事業（丹後王国「食のみやこ」、京都府丹後文化会館、峰山総合公園）】※再掲 ② 旧大宮第三小学校の丹後吹奏楽団への貸し出し ③ 学校跡施設の有効活用の検討</p>

<p>基本施策3 施設間のネット ワークを構築し ます</p>	<p>○官民の関係施設間のネットワークを構築し、相互に連携し情報を共有</p>
<p>令和5年度 の取組</p>	<p>① 文化芸術実践会議（仮称）を立ち上げ、ネットワークの構築を検討</p>

<p>基本施策4 文化ホールのあ り方や図書館の 整備を検討しま す</p>	<p>○丹後文化会館など、文化ホール機能の今後のあり方について検討 ○市中央図書館（仮称）の整備を検討</p>
<p>令和5年度 の取組</p>	<p>① 都市拠点公共施設整備検討の中で、文化芸術関連施設及び、中央図書館の整備を検討</p>

基本方針4 次世代へ文化的資源を継承します

<p>基本施策1 京丹後の歴史文化を次世代に伝えます</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○地域探究学習「丹後学」などによる地域の文化、歴史、伝統芸能などの学習（再掲） ○地域に伝わる食文化、丹後ちりめんなどの伝統産業、方言、生活文化を体験する機会を提供 ○郷土資料館や丹後古代の里資料館など文化施設を活用した学習機会の提供 ○生涯学習や地域コミュニティの活動として、地域の歴史文化を学ぶ機会を提供
<p>令和5年度の取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 小学校・中学校での「丹後学」の学習※再掲 ② 文化財保存活用課による出前講座 ③ 郷土資料館 組みひもキーホルダーづくり ④ 丹後古代の里資料館 勾玉づくり 貝輪づくり ⑤ Kaico「町を縫う」参加型アートプロジェクト 9/9（土）金刀比羅神社周辺（主催：京都 Re-Search 実行委員会） ⑥ 文化庁京都移転記念事業「きょう ハレの日、」での、地域の伝統文化と食文化のPR

<p>基本施策2 地域の伝統行事や民俗芸能などを次世代に伝えます</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の祭りなど伝統行事を継続するための取組 ○伝統行事や民俗芸能などの調査及び映像記録の作成 ○子どもたちが地域の伝統行事や民俗芸能を学ぶ機会を提供 ○「新たな地域コミュニティ」など地域間の連携による担い手の確保
<p>令和5年度の取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 京丹後市指定文化財等補助金 ② （仮）文化財保護基金の設立 ③ 網野銚子山古墳の整備 ④ 歴史文化や文化財を後世に伝えるため、（仮）市民遺産会議を立ち上げる ⑤ 京丹後市韓哲・まちづくり夢基金 ⑥ 郷土芸能・伝統行事のデータベース化事業（主催：文化のまちづくり実行委員会） ⑦ 「閉校になった学校の校歌保存事業」（主催：文化のまちづくり実行委員会）

基本方針5 情報を発信します

基本施策1 イベント、行事、団体などの情報を市内外へ発信します	<ul style="list-style-type: none"> ○市内で行われるイベント、祭事などの行事、団体の活動状況、人、地域資源などの情報を一元的に収集し、データベース化を行い情報発信 ○広報紙、各メディア、webサイト、SNSなど、あらゆる媒体を活用したわかりやすく効果的な情報発信
令和5年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 市内の文化芸術に関する情報を取りまとめ、あらゆる媒体を活用し、市内外に情報発信 ② 京丹後アートフェスティバル期間内の取組や催しの情報発信 ③ 京都府の文化芸術の情報発信等を活用し、京丹後の情報発信

基本施策2 助成制度などの情報を収集し広く周知します	<ul style="list-style-type: none"> ○市をはじめ国、府、各種団体などが実施する助成制度などの情報を収集、周知
令和5年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 国、府、各種団体等の助成制度をまとめ、情報提供

基本方針6 文化芸術をまちづくりに広く活かします

基本施策1 文化的資源の魅力を市内外へ発信します	<ul style="list-style-type: none"> ○地域に伝わる伝統行事、史跡、伝承などを観光資源として、市内外へ情報発信 ○文化芸術イベントや文化施設について市内外へ情報発信
令和5年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 市内の文化芸術に関する情報を取りまとめ、あらゆる媒体を活用し、市内外に情報発信※再掲 ② 京丹後アートフェスティバルの情報発信 ③ 文化庁京都移転記念事業「きょう ハレの日、」により、地域の文化芸術の取組を情報発信

基本施策2 地域・世代・国籍などを超えた交流を図ります	<ul style="list-style-type: none"> ○観光客や訪日外国人などを対象に伝統行事や生活文化などを鑑賞・体験できる事業を支援 ○文化芸術活動に携わる人の滞在や移住に関する支援を行うことにより、文化芸術をとおした新たなコミュニティを形成
---------------------------------------	---

<p>令和5年度 の取組</p>	<p>① 京丹後アートフェスティバル みるプログラム ガイドによる鑑賞バスツアー（手話通訳あり）を行う。</p>
----------------------	--

<p>基本施策3 文化芸術の力を観光に活かします</p>	<p>○山陰海岸ジオパークなどの自然や文化的景観、歴史文化などを活用した観光の促進 ○織物業や、機械金属業など、地場産業を活かした産業観光の促進</p>
<p>令和5年度 の取組</p>	<p>① 「京丹後市歴史文化物語」発信事業 デジタルイラストマップの作成 ② 史跡、神社等の観光活用 ③ 伝説・伝承などの歴史文化のストーリーの観光活用 ④ 織物業や機械金属業などの見学、体験とまち歩きを組み合わせた産業ツーリズムの推進 ⑤ Kaico「町を縫う」参加型アートプロジェクト 9/9（土）金刀比羅神社周辺 主催：京都 Re-Search 実行委員会</p>